第 10 回　中小企業景況調査結果

平成 18 年 10 月調査

鎌 倉 商 工 会 議 所

1．調査目的　この調査は、鎌倉市内の中小企業の景況を調査、その動向を分析して鎌倉市内の事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。

2．調査対象　鎌倉市内の中小企業特に小規模企業（製造業・建設業・最寄品小売業・買回品小売業･飲食業・サービス業）の中から 150 企業を抽出する。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合　計
			最寄品	買回品			
調査件数	１５	１５	２３	３０	３７	３０	１５０
回 答 数	１５	１３	２０	２６	３１	２５	１３０
回 答 率	100%	86.7%	87.0%	86.6%	83.7%	83.3%	86.6%

3．調査方法　郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)

4．調査項目

（１）DI の状況について

①　自社の状況　②　売 上 額　③　資金繰り　④　採　算　⑤　従業員数

（２）　設備投資について

（３）　経営上の問題点について

5．調査期間　平成 18 年 10 月１日～平成 18 年 10 月 31 日（10 月１日現在で記入）
平成 18 年７月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日
調査時点は四半期毎に実施。(７月･10 月･1 月･4 月)

6．調査データについて

（１）ＤＩ指数：Diffusion Index(ﾃﾞｨﾌｭｰｼﾞｮﾝｲﾝﾃﾞｯｸｽ・景気動向指数)の略。
各調査項目について、「増加」･「好転」したなどとする企業割合から「減少」･「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

（２）データ「本年と前年の数値を対比」

＜計算例＞

「やや増加」･「やや好転」５０％　「変わらず」２０％　「やや悪化」･「やや減少」３０％の場合。　DI＝５０％－３０％＝２０％

7．経営状況ＤＩ推移

経営状況		良い	普通	悪い	ＤＩ
第 1 回	平成 16 年 7 月調査	11(14.9%)	30(40.5%)	33(44.6%)	▲31.0
第 2 回	平成 16 年 10 月調査	18(20.9%)	35(40.7%)	33(38.4%)	▲23.1
第 3 回	平成 17 年 1 月調査	14(15.6%)	43(47.8%)	33(36.7%)	▲21.9
第 4 回	平成 17 年 4 月調査	16(18.8%)	43(50.6%)	26(30.6%)	▲11.8
第 5 回	平成 17 年 7 月調査	18(21.2%)	45(52.9%)	22((25.9%)	▲ 6.9
第 6 回	平成 17 年 10 月調査	30(23.0%)	61(47.3%)	38(29.5%)	▲ 4.6
第７回	平成 18 年 1 月調査	34(25.8%)	66(50.0%)	32(24.2%)	2.4
第 8 回	平成 18 年 4 月調査	43(33.6%)	55(43.0%)	30(23.4%)	9.6
第 9 回	平成 18 年 7 月調査	36(29.3%)	54(43.9%)	33(26.8%)	2.8
第 10 回	平成 18 年 10 月調査	38(29.2%)	61(46.9%)	31(23.8%)	7.4
	3 ヵ月後の見通し	54(41.5%)	48(36.9%)	28(21.5%)	19.5

Ⅰ　調査結果の概要

1　総　　合　　景況感は「踊り場脱し先行も明るい見通しを示す」

業況 DI はﾌﾟﾗｽ 7.6 に改善し、先行きも明るい見通し、個人需要に２極化。

設備投資は好調（OA 機器（18.5%）と機械設備と車両運搬具（各 13.8%）建物等(8.7%))。

今回（平成 18 年 10 月調査）は、業況 DI が前回（平成 18 年 7 月調査）に比べて 4.6 ﾎﾟｲﾝﾄ改善しﾌﾟﾗｽ 7.4 と改善。売上額 DI は 8.8 ﾎﾟｲﾝﾄ改善しﾌﾟﾗｽ 4.8、採算 DI は 2.8 ﾎﾟｲﾝﾄ改善しﾏｲﾅｽ 6.8 を示した。資金繰り DI は 9.6 ﾎﾟｲﾝﾄ改善を示した。(主要４指標すべて改善)

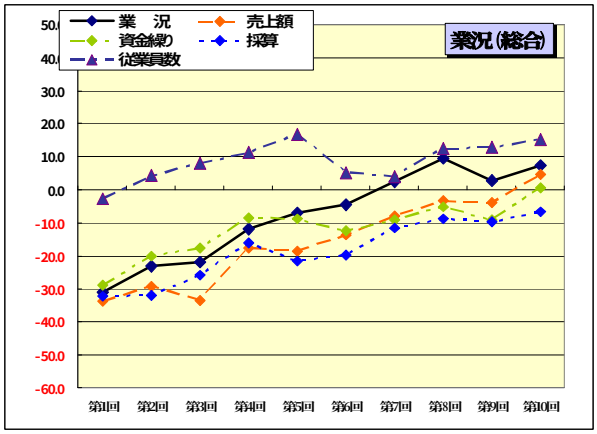
雇用状況を示す従業員数 DI は 2.6 ﾎﾟｲﾝﾄ上昇しﾌﾟﾗｽ 15.3 と不足の状況が続く。

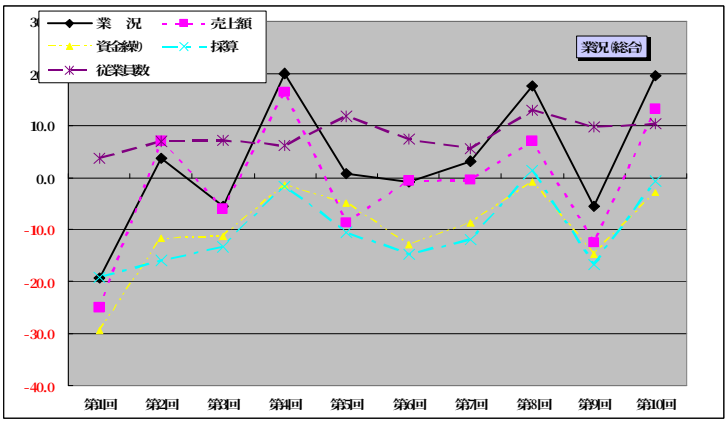
3 ヶ月後の業況見込み DI がﾏｲﾅｽ 19.5 と今期に比べて 12.1 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の見通しを示している。主要 3 指標である、来期の売上額見込み DI もﾌﾟﾗｽ 13.1 と今期に比べ 8.3 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、来期採算見通し DI もﾏｲﾅｽ 0.7 と今期に比べ 6.1 ﾎﾟｲﾝﾄ改善した。資金繰り DI もﾏｲﾅｽ 2.8 と 3.4 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化している。景況感は 4 期連続ﾌﾟﾗｽで踊り場を脱し先行も明るい見通しを示す。

・　**設備投資の動向**　　**（調査開始以来最高の投資件数を示す。）**

設備投資の動向は、OA 機器を導入したのは、買回品小売業が４社、製造業が 2 社と飲食業及びサービス業で各 3 社などの 15 企業、11.5%で、前回の 7 社から 8 社増加(5.7%から 11.7%の企業と 6.0%増加)が導入した。・機械設備は、飲食業が 4 社、建設業とサービス業が各 2 社、最寄品小売業１社、合計 9 社(前回 5 社)(4.1%から 6.9%の企業へ 2.1%増加)が設備投資した。・車輌運搬具は、最寄品小売業と飲食業が各 3 社、建設業、買回品小売業、ｻｰﾋﾞｽ業で各 2 社の合計 9 社(6.5%から 9.2%と１社、2.7%増加)となっている。建物等は飲食業が 4 社、と最寄品小売業の各 2 社、合計 6 社(4.1%から 4.6%の企業)がそれぞれ設備投資を実施した。

来期は OA 機器 9 社（飲食業で３社、買回品小売業とサービス業で各 2 社など）・機械設備９社（飲食業 4 社、製造業と最寄品小売業で各 2 社、建設業１社など）・車両運搬具６社（サービス業 2 社など）・建物 8 社（飲食業で４社、買回品小売業３社など）が投資予定をしている。OA 機器は今期と来期を合せ 18.5%(24 社）機械設備と車輌運搬具各 18 社、建物等 14 社、の企業が計画している。





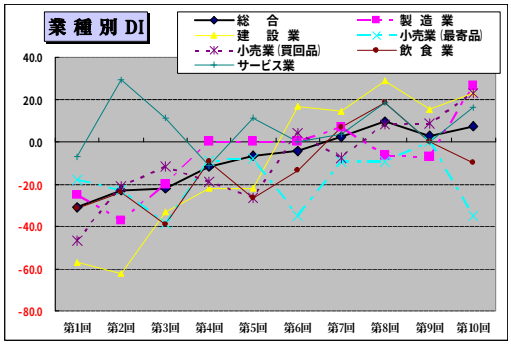
業　況　(総　合)		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
業　況		-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6	2.4	9.6	2.8	7.4	-19.4	3.7	-5.5	20.0	0.8	-0.8	3.1	17.5	-5.6	19.5
経営状況	売上額	-33.9	-29.2	-33.6	-17.5	-18.5	-13.7	-7.9	-3.2	-4.0	4.6	-25.0	7.0	-6.1	16.3	-8.7	-0.7	-0.5	6.9	-12.6	13.1
	資金繰り	-28.9	-20.0	-17.5	-8.5	-8.9	-12.5	-9.2	-5.0	-9.0	0.6	-29.3	-11.7	-11.4	-1.5	-4.8	-12.9	-8.7	-0.8	-14.8	-2.8
	採算	-32.3	-32.1	-25.8	-16.0	-21.6	-19.7	-11.5	-8.8	-9.6	-6.8	-19.2	-16.0	-13.4	-1.7	-10.5	-14.8	-11.9	1.4	-16.7	-0.7
	従業員数	-2.7	4.3	7.8	11.4	16.9	5.1	4.1	12.5	12.7	15.3	3.8	6.9	7.2	6.2	11.7	7.4	5.6	13.0	9.7	10.3
設備投資の動向	OA機器	9	7	7	7	8	6	12	10	7	15	11	7	9	10	6	9	12	9	10	9
	機械設備	2	3	3	2	7	11	11	8	5	9	4	4	6	8	2	5	6	4	8	9
	車輌運搬具	4	4	8	5	4	8	6	2	6	12	2	3	4	5	5	5	7	6	4	6
	建物	1	2	0	1	2	4	4	4	5	6	4	4	4	5	2	5	3	3	4	8
	付帯施設	4	2	4	3	4						5	2	3	10	3					
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2　業 種 別　　（悪化したのは最寄品小売業と飲食業の 2 業種）

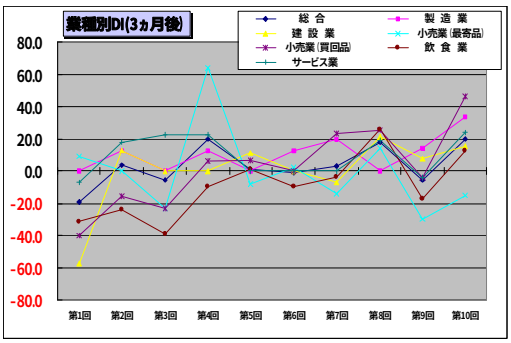
製造業は大幅に改善、建設業は好調。最寄品小売業が４期ぶりに悪化し、先行きも不安

業種別 DI は、総合判断ＤＩのﾌﾟﾗｽ 7.4。改善したのは､4 業種。悪化は最寄品小売業と飲食業の 2 業種。製造業の主要 4 指標がﾌﾟﾗｽ先行き不安材料。建設業は引き続き５期連続のﾌﾟﾗｽで**景気回復の牽引役先行き採算割れを懸念**。最寄品小売業は、7 月の天候不順で悪化転じた。買回品小売業は、**個人需要の回復で 3 期連続改善**し､ﾌﾟﾗｽ 23.1。飲食業は､2 期連続悪化ﾏｲﾅｽに転じた。回復の期待抱く。サービス業は大幅に改善、先行きも明るい見通し。

3 ヵ月後の業種別業況見込み DI は、製造業はﾌﾟﾗｽ 33.3 と改善、建設業は 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化し、最寄品小売業は 20.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の期待、買回品小売業もﾌﾟﾗｽ 46.2 と 23.1 ﾎﾟｲﾝﾄも改善の見通し。飲食業で 22.6 ﾎﾟｲﾝﾄの改善、ｻｰﾋﾞｽ業は 8.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の見通し。



業種別	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
総　合	-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6	2.4	9.6	2.8	7.4
製 造 業	-25.0	-37.5	-20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	-6.7	-7.1	26.7
建　設 業	-57.1	-62.5	-33.3	-22.2	-22.2	16.7	14.3	28.6	15.4	23.1
小売業(最寄品	-18.2	-23.1	-38.5	-9.1	-8.3	-35.0	-9.5	-9.5	0.0	-35.0
小売業(買回品	-46.7	-21.1	-11.8	-18.8	-26.7	4.2	-7.7	8.3	8.7	23.1
飲 食 業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	-26.7	-13.3	6.7	18.5	0.0	-9.7
サービス業	-7.1	29.4	11.1	-11.1	11.1	0.0	3.8	18.5	0.0	16.0



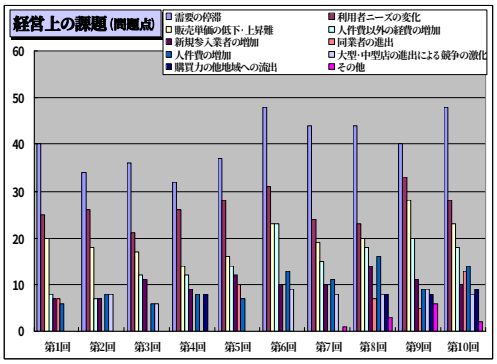
業 種 別	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
総 合	-19.4	3.7	-5.5	20.0	0.8	-0.8	3.1	17.5	-5.6	19.5
製 造 業	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	20.0	0.0	14.3	33.3
建 設 業	-57.1	12.5	0.0	0.0	11.1	0.0	-7.1	21.4	7.7	15.4
小売業(最寄品	9.1	0.0	-23.1	63.6	-8.3	2.0	-14.3	14.3	-30.0	-15.0
小売業(買回品	-40.0	-15.8	-23.5	6.3	6.7	0.0	23.1	25.5	-4.3	46.2
飲 食 業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	1.0	-9.7	-3.3	25.9	-17.2	12.9
サービス業	-7.1	17.6	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	18.5	-4.2	24.0

3　経 営 上 の 問 題 点

企業が抱える経営上の問題点は「、需要の停滞」と「利用者ﾆｰｽﾞの変化」

「需要の停滞」が 36.9%(4８社)の企業が･「利用者ニーズの変化」を 21.5%､(28 社)の企業、「販売単価の低下･上昇難」が 17.7%(2３社)の企業が、「人件費以外の経費の増加」が 14.0%(18 社)の企業、「人件費の増加」10.8%(14 社)、「同業者進出」10.0(%13 社)の企業が回答している。

総 合(下段は調査数)		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
		74社	86社	90社	85社	85社	129社	132社	128社	123社	130社
経営上の問題点	需要の停滞	40	34	36	32	37	48	44	44	40	48
	利用者ニーズの変化	25	26	21	26	28	31	24	23	33	28
	販売単価の低下･上昇	20	18	17	14	16	23	19	20	28	23
	人件費以外の経費の増加	8	7	12	12	14	23	15	18	20	18
	新規参入業者の	7	7	11	9	12	10	10	14	11	10
	同業者の進出	7				10			7	5	13
	人件費の増加	6	8	6	8	7	13	11	16	9	14
	大型･中型店の進		8	6			9	8	8	9	8
	購買力の他地域				8				8	8	9
	その他							1	3	6	2



Ⅱ　業 種 別 の 特 徴

1　製 造 業（主要４指標がﾌﾟﾗｽに転じる。先行きは不透明な見通し）

景況感は 33.8 ﾎﾟｲﾝﾄ改善ﾌﾟﾗｽ 26.7、主要 4 指標が改善し先行きは不安感を抱く。

経営上の課題は、「製品(加工)単価の低下・上昇難」や『需要の停滞』や「製品ニーズの変化」　　・設備投資は低調に推移

業況判断 DI は、**ﾏｲﾅｽ 7.1 からﾌﾟﾗｽ 26.7 と３期ぶりに改善した。先行きも明るい見通しを抱く。**業種別順位は６位から１位に上昇。今期売上額 DI はﾌﾟﾗｽ 40.0 と改善、採算 DI は、ﾌﾟﾗｽ 13.2 と 20.34 ﾎﾟｲﾝﾄ改善している。資金繰り DI は、ﾌﾟﾗｽ 6.7 と 21 ﾎﾟｲﾝﾄ改善した。

雇用状況を示す従業員数 DI は、ﾌﾟﾗｽ 33.3 と 4.7 ﾎﾟｲﾝﾄ上昇し、従業員が不足である。

調査 6 業者中、４期連続して、１位を保ち使途で不足が顕著。

3 ヵ月後の業況見込み DI は、今期に比べてﾌﾟﾗｽ 33.3 と 6.6 ﾎﾟｲﾝ改善している。売上額 DI もﾏｲﾅｽ 20.0 と 20.0 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化しているが、**来期採算見込み DI についてもプラス 6.7 と悪化。**従業員数 DI もﾌﾟﾗｽ 21.4 と 7.2 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化し、来期に従業員不足の解消が進むか。

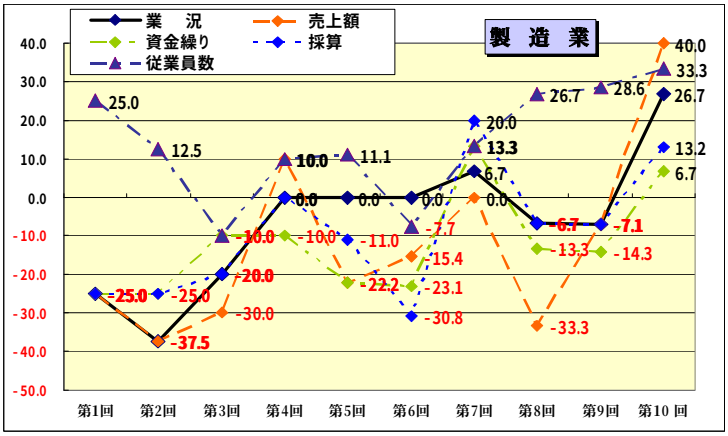
来期の資金繰り DI もﾏｲﾅｽ 13.3 と 21 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化を見通している。

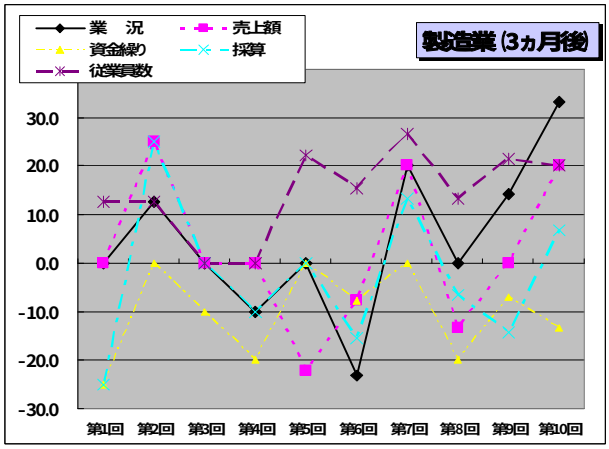
- **設備投資の動向**

設備投資の動向は、ＯＡ機器に 20%(３社)、の企業での設備投資が見られた。来期については、機械設備に 13.3%(２社）ＯＡ機器や車輌運搬具に 6.7%(１社）の企業で投資計画があり低調に推移。

- **経営上の問題点**

経営上の問題点の第 1 位は「需要の停滞」で 33.3%(5 社)、第 2 位は「製品(加工)単価の停下・上昇難」と、「製品ニーズの変化」26.7%(４社)、第 4 位「人件費以外の経費の増加」と「人件費の増加」など。前期に比べ「製品(加工)単価の停下・上昇難」9.5%の減少。「需要の停滞」4.7%(1 社)と「人件費の増加」は 6.7%(1 社)の増加。





製 造 業		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10 回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
業　況		-25.0	-37.5	-20.0	0.0	0.0	0.0	6.7	-6.7	-7.1	26.7	0.0	12.5	0.0	-10.0	0.0	-23.1	20.0	0.0	14.3	33.3
経営状況	売上額	-25.0	-37.5	-30.0	10.0	-22.2	-15.4	0.0	-33.3	-7.1	40.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-22.2	-7.7	20.0	-13.3	0.0	20.0
	資金繰り	-25.0	-25.0	-10.0	-10.0	-22.2	-23.1	13.3	-13.3	-14.3	6.7	-25.0	0.0	-10.0	-20.0	0.0	-7.7	0.0	-20.0	-7.1	-13.3
	採算	-25.0	-25.0	-20.0	0.0	-11.0	-30.8	20.0	-6.7	-7.1	13.2	-25.0	25.0	0.0	-10.0	0.0	-15.4	13.3	-6.7	-14.3	6.7
	従業員数	25.0	12.5	-10.0	10.0	11.1	-7.7	13.3	26.7	28.6	33.3	12.5	12.5	0.0	0.0	22.2	15.4	26.7	13.3	21.4	20.0
設備投資の動向	OA機器	1	1	1	1	0	0	2	2	2	3	2	2	0	1	0	1	0	1	3	1
	機械設備	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	3	1	2	2	2	1	2
	車輌運搬具	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	建物	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	付帯施設	0	0	0	1	1						1	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2　建 設 業（一服感。経費の増加等による採算割れを懸念）

景況感はﾌﾟﾗｽ 23.1 と一服感。先行きも採算割れを懸念。
経営上の課題は、「人件費以外の経費の増加」、設備投資が伸び悩み続く

業況判断 DI は、ﾌﾟﾗｽ 23.1 と 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善した。業種別順位は５期ぶりに６業種中の１位から 2 位に。売上額 DI が 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、ﾌﾟﾗｽ 23.1.となる。採算 DI は、横ばいの、0.0 となるが、資金繰り DI はプラス 15.4 と横ばい。

雇用状況を示す従業員数 DI が、7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、ﾌﾟﾗｽ 15.4 と一部に従業員の不足が進む。

調査 6 業種中同率 2 位。

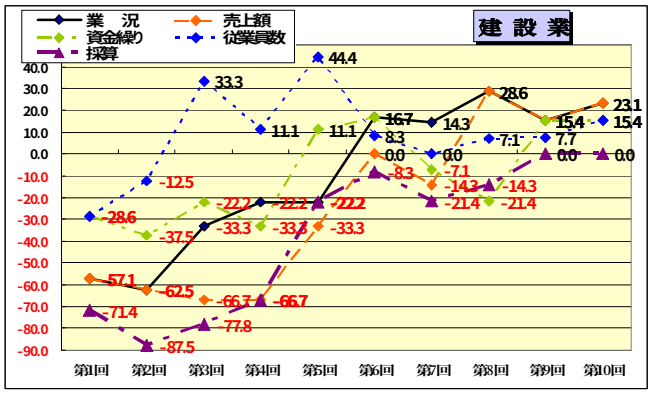
3 ヶ月後の業況見込み DI は、今期に比べ 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化しﾌﾟﾗｽ 15.4 と悪化見通しである。見通しの内容としては、来期の売上額見込み DI はﾏｲﾅｽ 7.7 と今期に比べ 15.4 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化、来期の採算見込み DI もﾏｲﾅｽ 15.4 と今期に比べ 15.4 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化。このことから**先行き採算割れを懸念の**見通しを示している。来期資金繰り DI も 0.0 なっている。

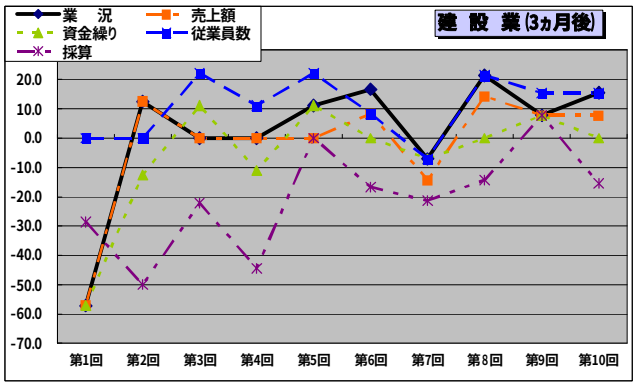
- **設備投資の動向**

設備投資の動向は、機械設備と車輌運搬具が 15.4%(各２社)、OA 機器、7.7%(１社)の企業で投資が実施された。来期の投資については、機械設備や車輌運搬具に 7.7%(各 1 社)の企業で投資計画がある。投資意欲は伸び悩みが続く。

- **経営上の問題点**

経営上の問題点の第 1 位「人件費以外の経費の増加」を 46.3%（６社）で挙げている。第２位は「人件費の増加」15.4%(2 社)、第 3 位「新規参入業者の増加」7.7%(1 社)の企業が回答している。前期調査に比べ『人件費以外の経費の増加』が 7 社から６社 7.7%減少し、「請負単価の低下･上昇難」が７社から 0 社 53.8%減少している。「需要の停滞」が 10 社から 0 社に減少している。「人件費の増加」が２社から２社となっている。





建 設 業		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	業　況	-57.1	-62.5	-33.3	-22.2	-22.2	16.7	14.3	28.6	15.4	23.1	-57.1	12.5	0.0	0.0	11.1	16.7	-7.1	21.4	7.7	15.4
経営状況	売上額	-57.1	-62.5	-66.7	-66.7	-33.3	0.0	-14.3	28.6	15.4	23.1	-57.1	12.5	0.0	0.0	0.0	8.3	-14.3	14.3	7.7	7.7
	資金繰り	-28.6	-37.5	-22.2	-33.3	11.1	16.7	-7.1	-21.4	15.4	15.4	-57.1	-12.5	11.1	-11.1	11.1	0.0	-7.1	0.0	7.7	0.0
	採算	-71.4	-87.5	-77.8	-66.7	-22.2	-8.3	-21.4	-14.3	0.0	0.0	-28.6	-50.0	-22.2	-44.4	0.0	-16.7	-21.4	-14.3	7.7	-15.4
	従業員数	-28.6	-12.5	33.3	11.1	44.4	8.3	0.0	7.1	7.7	15.4	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	8.3	-7.1	21.4	15.4	15.4
設備投資の動向	OA機器	2	1	2	1	1	1	3	2	1	1	0	1	1	1	0	1	3	2	0	0
	機械設備	0	0	1	0	0	0	2	2	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1
	車輌運搬具	1	2	3	1	0	3	2	1	4	2	1	3	2	1	1	1	3	2	0	1
	建物	0	0	0	0	0	0	0	1	1		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	付帯施設	0	0	0	1	1						0	0	1	1	0					
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0

3　小 売 業（最寄品）(主要４指標が悪化し業況 DI は、ﾏｲﾅｽに転じた)

「景況感は、大幅な悪化、先行きは持ち直しの兆しが。」
経営上の課題は、「需要の停滞」や「販売単価の低下・上昇難」と「利用者ﾆｰｽﾞの変化」

業況判断 DI はﾏｲﾅｽ 35.0 と 35.0 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化は、7 月の天候不順が影響か。業種別順位では６業種中同率 3 位から 6 位に。売上額 DI はﾏｲﾅｽ 40.0 と 0.5 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化、採算 DI はﾏｲﾅｽ 40.0 と 15.0 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化。資金繰り DI はﾏｲﾅｽ 10.0 と横ばい。

雇用状況を示す従業員数 DI は、5.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、ﾌﾟﾗｽ 10.0 と従業員(雇用)調整が進んだことを示している。　調査 6 業種中、同率の５位から４位に。

3 ヵ月後の業況見込み DI は、ﾏｲﾅｽ 15.0 と今期に比べて 15.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善見通しであり、来期の売上額見込み DI はﾏｲﾅｽ 20.0 と 20.0 ﾎﾟｲﾝﾄの改善の見通しを示す。来期の採算見通し DI もﾏｲﾅｽ 20.0 と 20.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善している。来期の資金繰り DI はﾌﾟﾗｽ 20.0 と 10.0 ﾎﾟｲﾝﾄも悪化の見通しを示す。

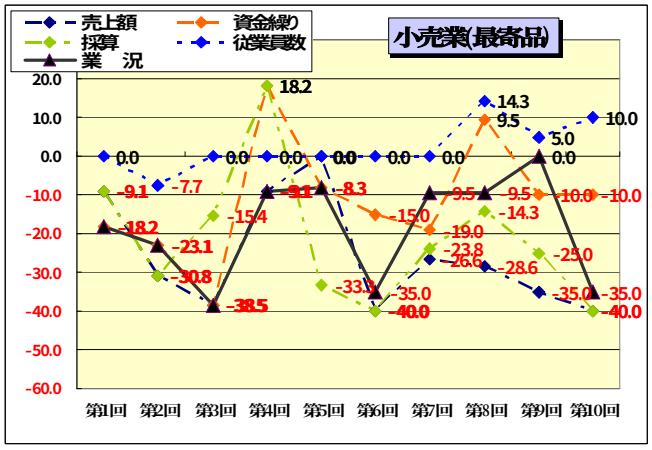
- **設備投資の動向**

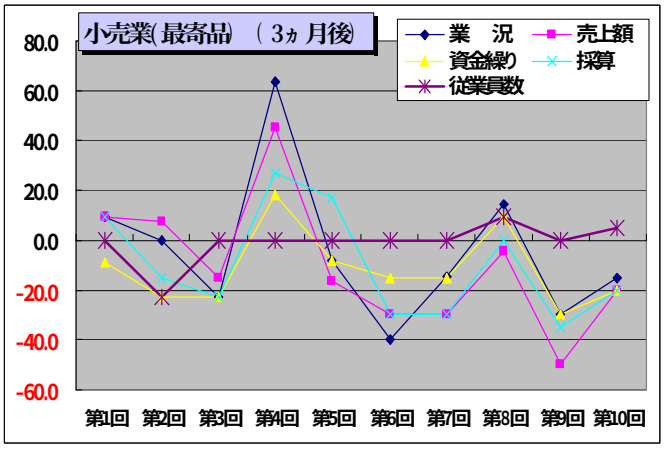
設備投資の動向は、調査２0 社のうち、車両運搬具に 15.0%(３社)、建物が 10.0%(2 社)、OA 機器と機械設備 5.0%(各１社)、の企業が投資したが、来期の投資については、機械設備 10.0%(2 社) OA 機器・車両運搬具・建物に 5%(各 1 社)の企業に投資計画があり、企業と投資活動は横ばい。

- **経営上の問題点**

経営上の問題点の第 1 位「需要の停滞」は 50.0%（10 社）の企業で回答し、第 2 位の「販売単価の低下・上昇難」と「利用者ニーズの変化」が 35%(7 社)、第４位「大型店・中型店の進出による競争の激化」が 20.0%(4 社)、第 5 位は「購買力の他地域への流出」「同業者の増加」・「人件費以外の経費の増加」が 10.0%(各２社)などが企業で抱えている問題と回答した。

前回調査に比べて、「需要の停滞」が 2 社増加(10.0%)「大型店・中型店の進出による競争の激化」が 5%(１社)の増加、「販売単価の低下・上昇難」は 7 社のままと無い横ばい。





小 売 業（最寄品）		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
業　況		-18.2	-23.1	-38.5	-9.1	-8.3	-35.0	-9.5	-9.5	0.0	-35.0	9.1	0.0	-23.1	63.6	-8.3	-40.0	-14.3	14.3	-30.0	-15.0
経営状況	売上額	-9.1	-30.8	-38.5	-9.1	0.0	-40.0	-26.6	-28.6	-35.0	-40.0	9.1	7.7	-15.4	45.5	-16.7	-30.0	-30.0	-4.8	-50.0	-20.0
	資金繰り	-18.2	-23.1	-38.5	18.2	-8.3	-15.0	-19.0	9.5	-10.0	-10.0	-9.1	-23.1	-23.1	18.2	-8.3	-15.0	-15.0	9.5	-30.0	-20.0
	採算	-9.1	-30.8	-15.4	18.2	-33.3	-40.0	-23.8	-14.3	-25.0	-40.0	9.1	-15.4	-23.1	27.3	16.7	-30.0	-30.0	0.0	-35.0	-20.0
	従業員数	0.0	-7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	5.0	10.0	0.0	-23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	5.0
設備投資の動向	OA機器	2	1	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	機械設備	0	1	1	0	1	3	1	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	1	1	2
	車輌運搬具	0	0	0	0		1	1	1	2	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	建物	1	1	0	0		1	2	1	1	2	1	1	1	1	0	2	2	1	1	1
	付帯施設	0	1	1	0							0	0	1	3	1					
	その他	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4　小 売 業（買回品）(3 期連続改善を示す。引き続き明るい見通し)

景況感は３期連続改善。先行きも明るい見通し。
経営上の課題は「需要の停滞」や「利用者ニーズの変化」と「販売単価の低下・上昇難」

業況判断 DI は、前期に比べて 14.4 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、ﾌﾟﾗｽ 23.1 となり、3 期連続**プラス**。業種別順位では２位から同率２位に。売上額 DI は 6.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、ﾌﾟﾗｽ 15.4 となる。採算 DI はﾌﾟﾗｽ 7.7 と 6.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善し、資金繰り DI はﾏｲﾅｽ 7.7 と 6.4 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化した。

雇用状況を示す従業員数 DI は、ﾌﾟﾗｽ 15.4 と従業員は調整終了し不足の状況となり、調査 6 業種中 2 期連続の６位から同率２位になった。

3 ヵ月後の業況見込み DI はﾌﾟﾗｽ 46.2 と今期に比べ 25.1 ﾎﾟｲﾝﾄと一層の改善見通しである。来期の売上額見込み DI もﾌﾟﾗｽ 46.2 と今期に比べ 30.8 ﾎﾟｲﾝﾄの改善見通し。来期の採算見通し DI はﾌﾟﾗｽ 23.1 と 15.4 ﾎﾟｲﾝﾄ改善を示すなど**先行きに明るい見通し。**資金繰り DI も 19.2 ﾎﾟｲﾝﾄの改善しﾌﾟﾗｽ 11.5 を示し、雇用状況も 7.7 を示している。

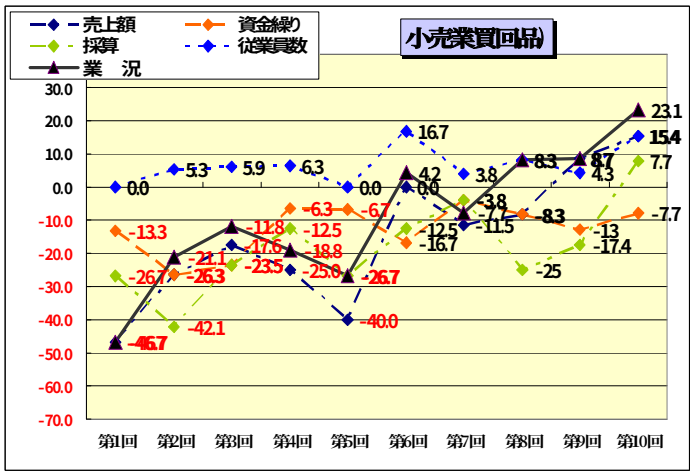
- **設備投資の動向**

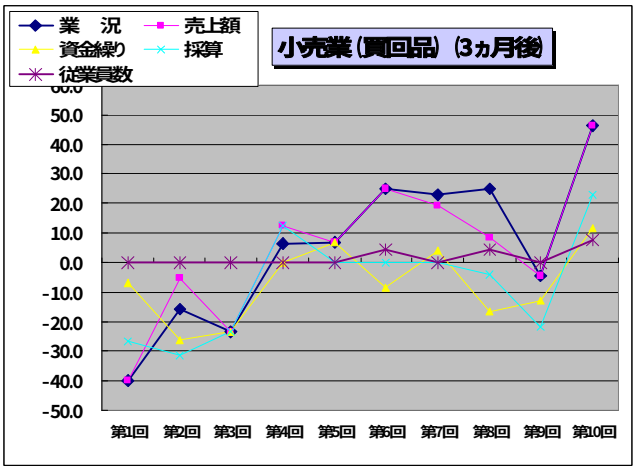
設備投資の動向は、OA 機器に 15.4%(４社)、車両運搬具 7.7%(２社)の企業が投資を実施した。来期の投資については建物等に 11.5%(3 社)、OA 機器 7.7%(2 社)の企業で投資計画が見られる。

- **経営上の問題点**

経営上の問題点の第 1 位「需要の停滞」で 38.5%(10 社)、第 2 位が「販売単価の低下・上昇難」で 23.1%(６社)。第 3 位「利用者ニーズの変化」19.2%(5 社)ついで「購買力の他地域への流出」や「大型・中型店の進出による競争の激化」が 11.5%(各３社)などである。

回調査に比べて、「販売単価の低下・上昇難」は 5 社から 6 社 1.4%増加し、「需要の停滞」も 8 社から 10 社と 3.7%増加した。「利用者ニーズの変化」が 8 社から 5 社と、15.6%減少した。





小 売 業(買回品)		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	業　況	-46.7	-21.1	-11.8	-18.8	-26.7	4.2	-7.7	8.3	8.7	23.1	-40.0	-15.8	-23.5	6.3	6.7	25.0	23.1	25.0	-4.3	46.2
経営状況	売上額	-46.7	-26.3	-17.6	-25.0	-40.0	0.0	-11.5	-8.3	8.7	15.4	-40.0	-5.3	-23.5	12.5	6.7	25.0	19.2	8.3	-4.3	46.2
	資金繰り	-13.3	-26.3	-23.5	-6.3	-6.7	-16.7	-3.8	-8.3	-13	-7.7	-6.7	-26.3	-23.5	0.0	6.7	-8.3	3.8	-16.7	-13.0	11.5
	採算	-26.7	-42.1	-23.5	-12.5	-26.7	-12.5	-3.8	-25	-17.4	7.7	-26.7	-31.6	-23.5	12.5	0.0	0.0	0.0	-4.2	-21.7	23.1
	従業員数	0.0	5.3	5.9	6.3	0.0	16.7	3.8	8.3	4.3	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	7.7
設備投資の動向	OA機器	0	3	2	1	1	1	3	3	3	4	2	2	4	5	2	1	4	2	2	2
	機械設備	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0
	車輌運搬具	1	1	3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1	1	0	2	2	0
	建物	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	3
	付帯施設	1	0	0	0	0						0	1	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5　飲 食 業　(主要４指標が２期連続して悪化ﾏｲﾅｽに転じ、来期は期待感を示す。)

景況感は２期連続して悪化した。先行きは明るい兆しを期待。

経営上の課題は「需要の停滞」や「利用者ﾆｰｽﾞの変化」、設備投資は店舗改装など好調続く

業況判断 DI は、前期に比べて 9.7 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化してﾏｲﾅｽ 9.7 と２期連続して悪化した。業種別順位では、同率３位から６位に後退。売上額 DI もﾏｲﾅｽ 22.6 と 12.3 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化した。採算 DI はﾏｲﾅｽ 25.8 と 25.8 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化した。資金繰り DI は、ﾏｲﾅｽ 12.9 と 6.0 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化した。

雇用状況を示す従業員数 DI はﾌﾟﾗｽ 9.7 とやや不足状態の解消が進む。来期もこのままかの状態が続く。調査６業種中、製造業、建設業、買回り品についで第４位の結果である。

３ヵ月後の業況見込み DI はﾏｲﾅｽ 12.9 と今期と比べ 22.6 ﾎﾟｲﾝﾄも改善見通し。来期売上額見込み DI もﾌﾟﾗｽ 12.9、と 35.5 ﾎﾟｲﾝﾄ改善。来期の採算見通し DI もﾏｲﾅｽ 6.5 と、19.3 ﾎﾟｲﾝﾄ改善している。資金繰り DI もﾏｲﾅｽ 3.2 と、9.7 ﾎﾟｲﾝﾄか改善の見通しである。

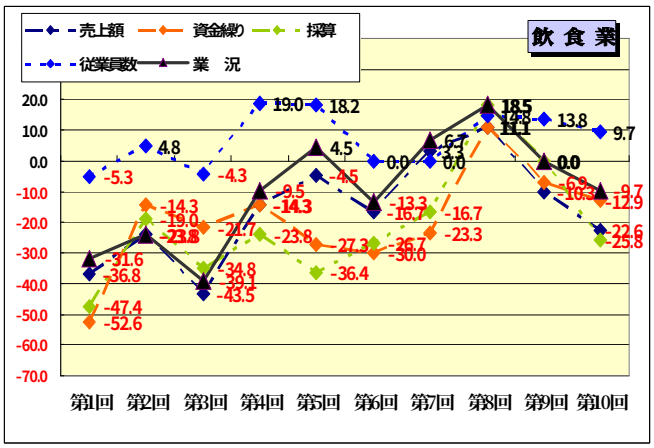
- **設備投資の動向**

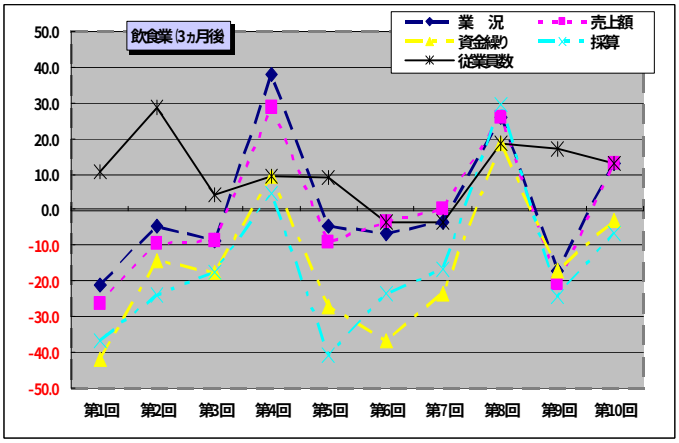
設備投資の動向は、建物と機械設備が、12.9%(各 4 社)、OA 機器と車両運搬具が、9.7%(各３社)の企業で投資が見られた。来期の投資でも、機械設備と建物が 12.9%(各４社)、OA 機器に 9.7%（３社）車両運搬具 3.1%(1 社)などの投資計画が見られる。店舗の改善が８社と好調が続く。

- **経営上の問題点**

経営上の問題点の、第１位「需要の停滞」で 48.4%(15 社)、第２位「利用者ニーヅの変化」25.8%(８社)、第３位「販売単価の低下・上昇難」22.6%(７社)、は、第４位「人件費の増加」16.1%(5 社)、第５位「同業者の進出」12.9%(４社)などである。

前回調査に比べて「需要の停滞」が 5 社から 15 社に 24.1%(10 社)増加し、「販売単価の低下･上昇難」が 6 社から７社に 1.9%(１社)増加、「利用者ニーズの変化」が 10 社から 8 社に 8.7%(２社)減少と「人件費以外の経費の増加」が 4 社から 2 社に 7.3%(２社)減少した。





飲 食 業		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
業　況		-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	4.5	-13.3	6.7	18.5	0.0	-9.7	-21.1	-4.8	-8.7	38.1	-4.5	-6.7	-3.3	25.9	-17.2	12.9
経営状況	売上額	-36.8	-23.8	-43.5	-14.3	-4.5	-16.7	3.3	11.1	-10.3	-22.6	-26.3	-9.5	-8.7	28.6	-9.1	-3.3	0.0	25.9	-20.7	12.9
	資金繰り	-52.6	-14.3	-21.7	-14.3	-27.3	-30.0	-23.3	11.1	-6.9	-12.9	-42.1	-14.3	-17.4	9.5	-27.3	-36.7	-23.3	18.5	-17.2	-3.2
	採算	-47.4	-19.0	-34.8	-23.8	-36.4	-26.7	-16.7	18.5	0.0	-25.8	-36.8	-23.8	-17.4	4.8	-40.9	-23.3	-16.7	29.6	-24.1	-6.5
	従業員数	-5.3	4.8	-4.3	19.0	18.2	0.0	0.0	14.8	13.8	9.7	10.5	28.6	4.3	9.5	9.1	-3.3	-3.3	18.5	17.2	12.9
設備投資の動向	OA機器	2	0	0	1	1	0	0	0	0	3	3	1	1	1	2	0	1	2	1	3
	機械設備	1	2	1	0	4	6	6	2	2	4	1	2	0	1	0	2	2	1	1	4
	車両運搬具	1	0	1	1	1	0	1	0	2	3	1	0	0	2	1	0	2	0	2	1
	建物	0	0	0	0	1	1	1	1	3	4	2	0	2	2	2	0	1	2	2	4
	付帯施設	3	0	1	0	2						3	0	0	4	2					
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

6　サービス業（すべての指標でﾌﾟﾗｽに転じたが、先行き悪化懸念を示す。）

景況感は、景気は改善しﾌﾟﾗｽに転じる。先行き採算割れなどの懸念を示す。
経営上の課題は「需要の停滞」と「利用者ﾆｰｽﾞ変化」など、設備投資は好調。

業況判断 DI は、16.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善してﾌﾟﾗｽ 16.0 と一転ﾌﾟﾗｽに転じる。業種別順位で第３位から第４位に。売上額 DI は 7.8 ﾎﾟｲﾝﾄ改善してﾌﾟﾗｽ 12.0 となったが、採算 DI が 12.3 ﾎﾟｲﾝﾄ改善。資金繰り DI もﾌﾟﾗｽ 12.0 と 37.0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善した。 雇用状況を示す従業員数 DI は、8.7 ﾎﾟｲﾝﾄ低下しﾌﾟﾗｽ 8.0 と雇用調整が完了している。調査 6 業種中６位となる。

3 ヵ月後の業況見込み DI は 24.0 と 28.2 ﾎﾟｲﾝﾄ改善。来期売上額見込み DI もﾌﾟﾗｽ 12.0。来期の採算見通し DI はﾌﾟﾗｽ 8.0 と 20.5 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の見通しを示し、資金繰り DI もﾌﾟﾗｽ 8.0 の見通しを示し、すべての指標でﾌﾟﾗｽに転じた。

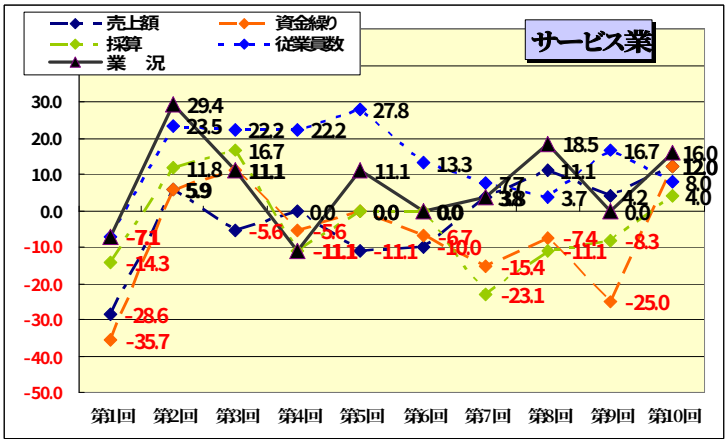
・　**設備投資の動向**

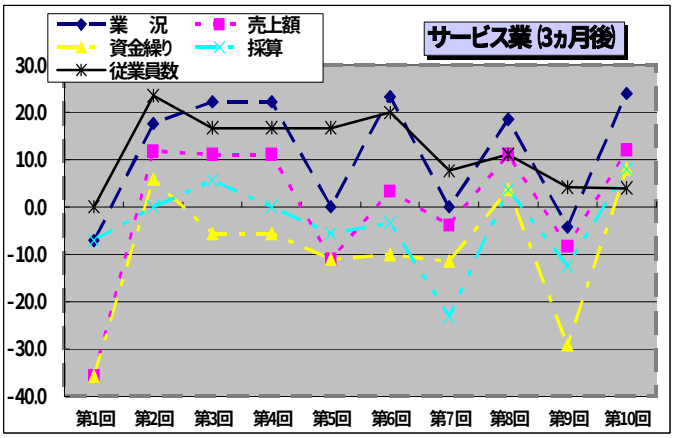
設備投資の動向は、調査２５社のうち、OA 機器は 12.0%(3 社)、機械設備と、車両運搬具が 8.0%(各２社)の投資した。来期の投資計画については、OA 機器と、車輌運搬具が 8.0%(２社)の投資計画が見られる。景気回復見通しを背景に増加している。

・　**経営上の問題点**

経営上の問題点の第 1 位は「利用者ニーズの変化」と、「需要の停滞」が、32.0%（各８社） 第３位、「人件費の増加」・「人件費以外の経費の増加」が 24.0%(６社)、4 位は「同業者の進出」20%(5 社)。5 位は「販売単価の低下・上昇難」・「人件費の増加」が、12.5%(各 3 社)などである。

前回調査に比べ「利用者ニーズの変化」は 8 社から 8 社に 1.2%減少、「需要の停滞」も 5 社から８社に 11.2%増加した。ついで「人件費以外の経費の増加」3 社から 6 社に、12.3%増加、「同業者の進出」が１社から５社に 15.8%増加した。





サービス 業		対前年比										3ヵ月後									
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
業　況		-7.1	29.4	11.1	-11.1	11.1	0.0	3.8	18.5	0.0	16.0	-7.1	17.6	22.2	22.2	0.0	23.3	0.0	18.5	-4.2	24.0
経営状況	売上額	-28.6	5.9	-5.6	0.0	-11.1	-10.0	3.8	11.1	4.2	12.0	-35.7	11.8	11.1	11.1	-11.1	3.3	-3.8	11.1	-8.3	12.0
	資金繰り	-35.7	5.9	11.1	-5.6	0.0	-6.7	-15.4	-7.4	-25.0	12.0	-35.7	5.9	-5.6	-5.6	-11.1	-10.0	-11.5	3.7	-29.2	8.0
	採算	-14.3	11.8	16.7	-11.1	0.0	0.0	-23.1	-11.1	-8.3	4.0	-7.1	0.0	5.6	0.0	-5.6	-3.3	-23.1	3.7	-12.5	8.0
	従業員数	-7.1	23.5	22.2	22.2	27.8	13.3	7.7	3.7	16.7	8.0	0.0	23.5	16.7	16.7	16.7	20.0	7.7	11.1	4.2	4.0
設備投資の動向	OA機器	2	1	2	3	3	2	4	2	1	3	3	1	2	1	2	5	3	2	3	2
	機械設備	0	0	0	1	1	1	2	0	1	2	1	0	2	3	0	0	1	0	1	0
	車輌運搬具	1	1	1	2	1	1	2	0	0	2	0	0	1	1	1	3	1	1	0	2
	建物	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	付帯施設	0	1	2	1	0						1	1	1	2	0					
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ　資 料 編

第10回：景気動向DI結果 (平成18年10月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
業況	(今期)	7.4	26.7	23.1	-35	23.1	-9.7	16
	(3ヵ月後)	19.5	33.3	15.4	-15	46.2	12.9	24
今期経営状況	売上額	4.6	40	23.1	-40	15.4	22.6	12
	資金繰り	0.6	6.7	15.4	-10	-7.7	-12.9	12
	採算	-6.8	13.3	0	-40	7.7	-25.8	4
	従業員数	15.3	33.3	15.4	10	15.4	9.7	8
見通し3ヵ月後	売上額	13.1	20	7.7	-20	46.2	12.9	12
	資金繰り	-2.8	-13.3	0	-20	11.5	-3.2	8
	採算	-0.8	6.7	-15.4	-20	23.1	-6.5	8
	従業員数	10.8	20	15.4	5	7.7	12.9	4

第10回：設備投資結果 (平成18年10月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
今期	OA機器	15	3	1	1	4	3	3
	機械設備	9		2	1		4	2
	車輌運搬具	12		2	3	2	3	2
	建物(付帯設備等含む)	6			2		4	
	付帯施設							
	その他	1					1	
3ヵ月後	OA機器	9	1		1	2	3	2
	機械設備	9	2	1	2		4	
	車輌運搬具	6	1	1	1		1	2
	建物(付帯設備等含む)	8			1	3	4	
	付帯施設							
	その他	0						

第10回：経営上の問題点 (平成18年10 月調査)

景況調査結果	総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
				最寄品	買回り品		
需要の停滞	48	5		10	10	15	8
利用者ニーズの変化	28	4		7	5	8	8
販売単価の低下･上昇難	23	4		7	6	7	3
人件費以外の経費の増加	18	2	6	2		2	6
新規参入業者の増加	10		1	1	3	3	2
同業者の進出	13			2	2	4	5
人件費の増加	14	2	2	1	1	5	3
大型･中型店の進出による競争の激化	8			4	3		1
購買力の他地域への流出	9			2	4	1	2
その他							
	加工単価の低下･4	製品ニーズの変化･4					
	加工単価の低下･4	加工単価の低下･4					
	事業資金の借入難･2	事業資金の借入難･2					

第9回：景気動向DI結果 (平成１８年7月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
業況	(今期)	2.8	-7.1	15.4	0	8.7	0	0
	(3ヵ月後)	-5.6	14.3	7.7	-30	-4.3	-17.2	-4.2
今期経営状況	売上額	-4	-7.1	15.4	-35	8.7	-10.3	4.2
	資金繰り	-9	-14.3	15.4	-10	-13	-6.9	-25
	採算	-9.6	-7.1	0	-25	-17.4	0	-8.3
	従業員数	12.7	28.6	7.7	5	4.3	13.8	16.7
見通し3ヵ月後	売上額	-12.6	0	7.7	-50	-4.3	-20.7	-8.3
	資金繰り	-14.8	-7.1	7.7	-30	-13	-17.2	-29.2
	採算	-16.7	-14.3	7.7	-35	-21.7	-24.1	-12.5
	従業員数	9.7	21.4	15.4	0	0	17.2	4.2

第9回：設備投資結果 (平成１８年7月調査)

景況調査結果		総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
					最寄品	買回り品		
今期	OA機器	7	2	1	0	3		1
	機械設備	5	1		1		2	1
	車輌運搬具	8		4	2		2	
	建物(付帯設備等含む	5		1	1		3	
	付帯施設							
	その他	0						
3ヵ月後	OA機器	10	3		1	2	1	3
	機械設備	8	1	2	1	2	1	1
	車輌運搬具	4				2	2	
	建物(付帯設備等含む	4			1	1	2	
	付帯施設							
	その他	0						

第9回：経営上の問題点 (平成１８年7月調査)

景況調査結果	総合	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業
				最寄品	買回り品		
需要の停滞	30	4	10	8	8	5	5
利用者ニーズの変化	33			7	8	10	8
販売単価の低下・上昇難	20	1	7	7	5	6	2
人件費以外の経費の増加	20	2	7	3	1	4	3
新規参入業者の増加	11		1	3	1	3	3
同業者の進出	5			2	1	1	1
人件費の増加	9	1	2			3	3
大型・中型店の進出による競争の激化	7		2	3	2	2	
購買力の他地域への流出	8			3	2	1	2
その他	ガソリンの値上げ・1		請負単価の低下・上昇難・7				
	加工単価の低下・5	製品ニーズの変化・3	民間需要の停滞・5				
		加工単価の低下・5	官公需要の停滞・5				
		事業資金の借入難・1	大企業の進出による競争の激化・2				

ガソリンの値上げ・1